

○SDGs達成への貢献をめざす大阪・関西万博の開催を目前に控え、府民の脱炭素化に向けた行動変容や事業者の脱炭素経営の促進を加速するとともに、CO₂吸収源ともなる大阪湾のブルーカーボン生態系の創出を推進するなど、脱炭素社会に向けたレガシーとなるよう“万博をきっかけ”とした様々な取組みを府域で展開していく。
※本資料に記載された事業は予算要求中のものであり、大阪府議会令和6年2月定例会で予算案が承認議決された場合、執行が可能になります。

府民の行動変容の促進

(新) 府民の脱炭素行動促進・貢献量可視化事業 (予算額：45,929千円) ～アプリを活用したCO₂削減取組の促進～

- EXPOグリーンチャレンジ※を契機に、民間事業者や博覧会協会と連携協力し、個人の脱炭素行動によるCO₂削減量を可視化するアプリを活用して行動変容を促進する。
- ・ 脱炭素に関する啓発やアプリのPRを行う行動変容促進キャンペーンを大規模に展開
- ・ 府HP上で、府域全体での取組みの進捗等をグラフ等により可視化



※博覧会協会が、万博会期前から会場外で、企業や学校、自治体などの団体に呼びかけ、様々なCO₂削減努力を一体となって行い、将来の削減に貢献する取組み

(拡充) 脱炭素化に向けた消費行動促進事業 (予算額：11,385千円) ～CO₂排出量見える化表示の大規模展開～

- 府民・事業者のCFP※認知度向上を図り、脱炭素消費のきっかけとなるよう、スーパー、地下街、ショッピングモール運営者等と連携し、府域の多くの場所で、見える化した商品の販売やイベント等を実施する。
- 大阪産(もん)の農産物や農産物加工品でのCFPを、農業者等が使いやすい簡易算定ツールとして汎用化、マニュアル等を整備する。



※CFP(カーボンフットプリント)：商品やサービスのライフサイクルにおける温室効果ガス排出量をCO₂に換算し、分かりやすく表示する仕組み

環境配慮消費行動促進に向けた脱炭素ポイント付与制度普及事業 (予算額：49,996千円)

- 多くの事業者を活用いただけるガイドラインを作成・活用し、より幅広い業種・業態の事業者の協力を得て、ポイント付与による環境配慮消費行動を促進する。
(脱炭素ポイント支払い原資に係る費用の1/3以内の支援を実施)

【参考】R5年度実績：事業者数 12社、期間 10月～2月、原資に係る費用の1/2 以内(上限300万円)



脱炭素モビリティの促進

万博を契機としたバス事業者の脱炭素化促進事業 (予算額：971,000千円)

万博会場へのクリーンな移動手段の確保のため、博覧会協会が示す来場者輸送方針等を踏まえ、駅シャトルバス等へのEV/FCバス導入(約100台)について大阪府市が必要な経費の一部を補助する(R4～6年度の3か年事業)。

補助率：1/3以内 補助上限額：EVバス 1,800万円、FCバス 3,550万円
予算積算台数：合計52台(EVバス50台、FCバス2台)
【参考】R4実績：EVバス18台、R5交付決定：EVバス39台



脱炭素経営の促進

脱炭素経営宣言促進事業 (予算額：3,959千円)

- 商工会議所や地域の金融機関等と連携して事業者へ働きかけを行い、脱炭素経営宣言を行った事業者には登録証を発行するほか、補助金案内など各種支援を実施。



【参考】R5年度実績(1月18日時点)：宣言事業者数 4,086件

(新) 中小事業者高効率空調機導入支援事業 (予算額：702,982千円)

- 中小事業者の脱炭素化と電気料金の削減による経営力強化を後押しするため、高効率空調機の設備費及び工事関連費の一部を補助。
補助率：1/2以内 補助上限額：1,500万円

(新) 中小事業者脱炭素重点対策促進事業 (予算額：40,000千円)

- 中小事業者の脱炭素化に向けて重点的に実施すべき取組みを加速化させるため、太陽光発電設備の導入に要する費用の一部を補助。
補助率：5万円/kW 補助上限額：1,500万円

(環境省「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金(重点対策加速化事業)」を活用。令和6年3月に申請予定)

クレジットを活用した脱炭素経営促進事業 (予算額：25,035千円)

- 令和5年度に認証を受けた5つの再エネ・省エネ取組みについて、府内に事業所を持つ事業者を対象に事業への参加者を募り、参加者毎の削減データをモニタリングし一括してクレジット認証を受け、万博への寄付につなげる。

大阪湾におけるブルーカーボン生態系の創出

大阪湾を藻場等のブルーカーボン生態系の回廊でつなぐ「大阪湾MOBAリンク構想」を実現するため、埋立や護岸整備により藻場等が失われた湾奥部を含めた藻場等の再生・創出を推進。

(新) 大阪湾奥部におけるブルーカーボン生態系の創出 (予算額：44,056千円)

- 藻場創出の適地等を調査するとともに、万博の機会を捉えて大阪湾における取組みを情報発信する広報ツールを作成。また、万博会場周辺海域において藻場創出に取り組む事業者等を公募・補助。

大阪湾漁場環境整備事業 (予算額：160,000千円)

- 大阪府海域の藻場の保全・創造に向けた行動計画「大阪府海域ブルーカーボン生態系ビジョン」に基づく泉佐野市以南での漁場整備事業を実施。

大阪湾ブルーカーボン生態系アライアンス(MOBA)

- 令和6年1月に兵庫県と共同設置した「大阪湾ブルーカーボン生態系アライアンス(MOBA)」において、大阪湾の藻場等の創出意欲のある企業、団体、大学、行政等を募集し、情報共有や新たな取組みを検討し、大阪湾での藻場等の保全・再生・創出を加速。

